

萩市大字上小川西分

「千人塚2号」ため池災害ハザードマップ 平成26年4月 萩市

近年、集中豪雨でため池が決壊し下流に被害がでていた事例があります。ため池が決壊すると、一度に大量の水が流れ、土石流となって下流域に、甚大な被害を及ぼします。

こうした災害に備えるため、古い年代に造られ、未整備のため池について万が一、決壊した場合の浸水区域を想定し、みなさんの避難行動に役立ててもらうためにハザードマップ(危険地図)を作成しました。

○ため池の決壊事例

平成25年7月28日豪雨により、須佐地域において「火打岩ため池」「西ヶ浴ため池」の2箇所が決壊し下流の農地に被害が発生しました。

危険ため池でなくても、古い年代のため池が多く、次第に老朽化していきますので決して安全という訳ではありません。常日頃から、異常がないか点検することが大事です。



(H25. 7. 28 豪雨 火打岩ため池決壊)



○このハザードマップの予測条件

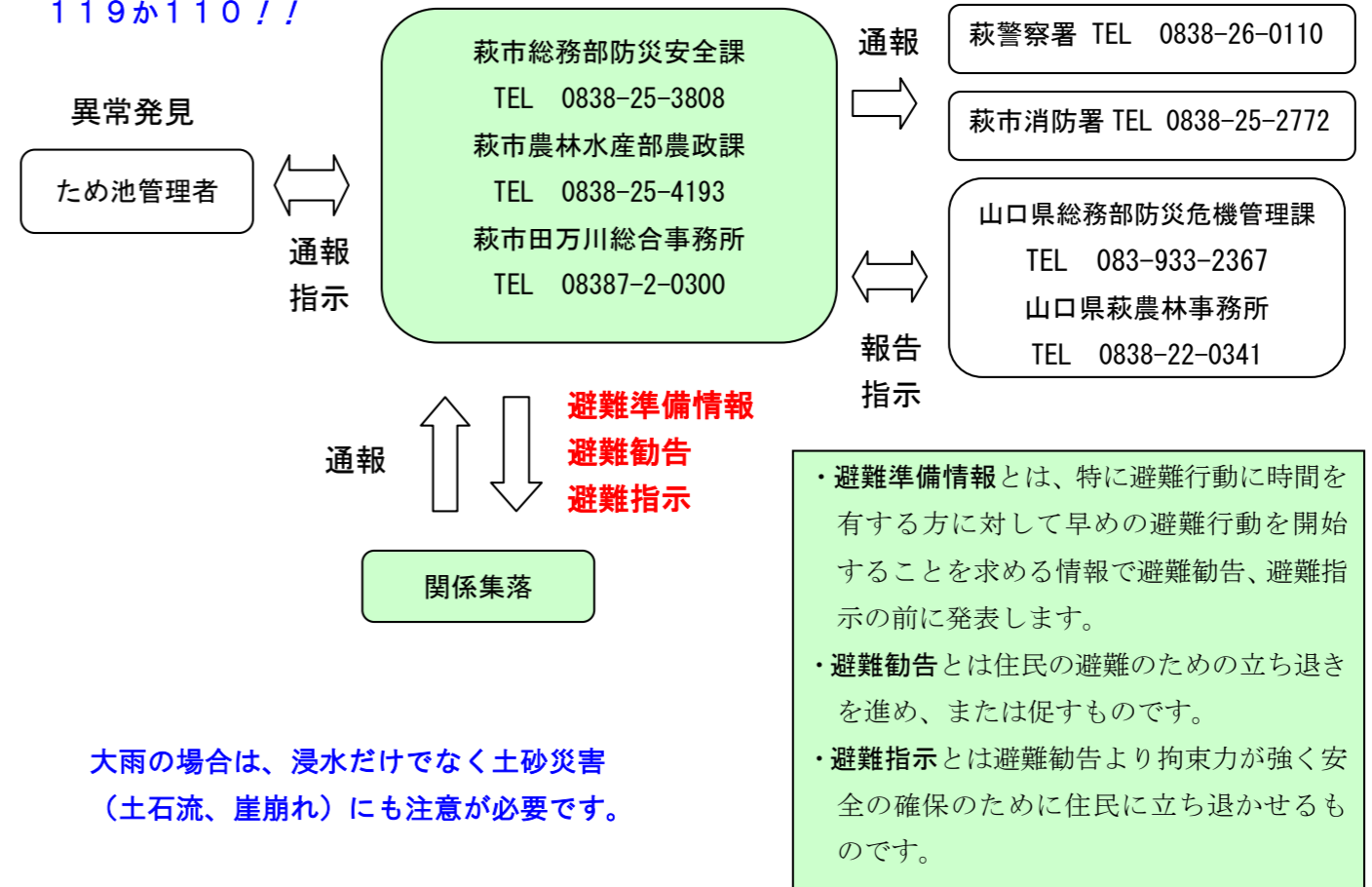
- ・決壊時の雨は、200年に1回に起こる雨を想定しています。
- ・浸水深は、「足ヒザ以上(50cm)」を想定しています。
- ・被害想定範囲は、あくまで目安です。気象条件等により、予測外の範囲に広がる可能性があります。状況に応じて、適切に行動してください。

○緊急連絡体制

ハザードマップを作成した「ため池」は、いざという時に備え、下記の連絡体制をとっています。大雨の時などは、行政機関の出す情報に十分注意してください。

また、**突然の大雨や地震の時など危険を感じたら、早めに自主的に避難することも重要です。**ため池の異常を発見した時は、すぐに市に通報をお願いします。

人身被害は直ちに
119か110!!



○ため池の異常とは

- ・古いため池はいくらか漏水がありますが、この漏水の量が突然増えてきたり、濁ってきたら要注意です。堤体の中に穴が開き、大きくなっている証拠です。この穴が堤体の陥没を生み、ため池の決壊につながります。
- ・大雨でため池の余水吐き(排水路)で山から流入してくる水が吐けず、堤体を超える場合は堤体が徐々に洗い流され、決壊へと進行します。
- ・地震で堤体にひび割れが入っても決壊につながります。



避難の際の注意事項

早めの避難を！

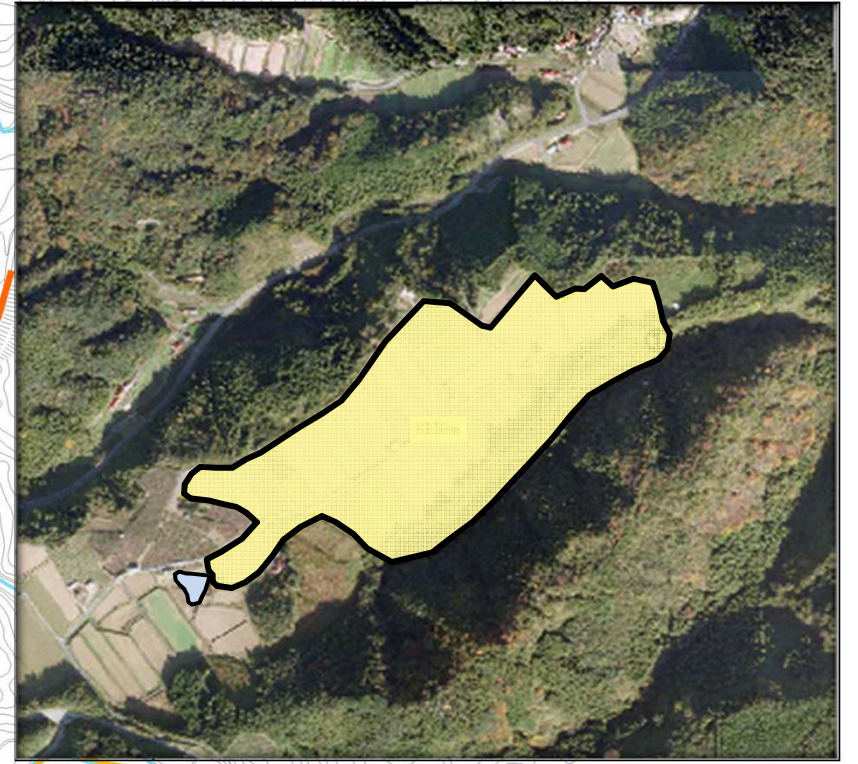
- ◆道路や地面が浸水する前に避難しましょう。
- ◆高齢の方、身体の不自由な方、子供等は、避難に時間がかかります。早めの避難を心がけましょう
- ◆荷物は貴重品、食糧、衣料・日用品など必要最低限のものにしましょう。

避難は2人以上で！

- ◆裸足、長靴は危険です。ひもでしめられている運動靴で避難しましょう。
- ◆近所と声をかけ合って、家族やグループで行動しましょう。

足下に注意！

- ◆普段は見えていた水路・柵・段差など洪水のときは冠水して見えづらくなっています。十分に注意して移動しましょう。
- ◆水深がひざまであるようなら、無理をせず高所で救助を待ちましょう。



凡 例	
	た め 池
	浸水想定区域（水深50cm以上）

緊急連絡先	
萩市役所	TEL 0838-25-3131
萩警察署	TEL 0838-26-0110
萩市消防署	TEL 0838-25-2772
萩市田万川総合事務所	TEL 08387-2-0300

千人塚 2号 ため池
 緯度 34° 34' 17"
 経度 131° 38' 06"

ため池が決壊した
 場合の浸水域

上流域の雨量や河川水位にもご注意ください。
 山口県土木防災情報システム
<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/> (パソコン用)
<http://y-bousai.pref.yamaguchi.lg.jp/k/> (携帯用)
 下関地方気象台
<http://www.jma-net.go.jp/shimonoseki/>
 気象庁
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
 山口県土砂災害ポータル
<http://d-keikai.pref.yamaguchi.lg.jp/portal/> (パソコン用)

